

# 創立者出身地への学生派遣プログラム（鳥取県）

## 最終成果報告発表会

日程 2012年12月15日（土）

会場 しかの心

鳥取県での学生派遣プログラムの成果報告発表会を、鳥取県鳥取市鹿野町「しかの心」で実施し、鹿野町をテーマにした地域活性化の提案を行いました。

鳥取県での学生派遣プログラムは、現地フィールドワークを9月10日～13日まで実施し、学生と地域の人々の交流・連携を通して絞り込み、最終成果報告発表会にて発表しました。

本プログラムは、2009年に協定した鳥取県・鳥取大学をはじめ、鳥取市、NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会の方々の協力により実施しました。

最終成果報告会参加者 14名（男子7名、女子7名）

第一グループ 「鳥取・鹿野のおもてなし」

松尾太博（経営学部4年）、朴何林（文学部2年）

第二グループ 「福祉政策を考える（買物弱者対策など）」

前田晃穂（法学部3年）、浅野友花（政治経済学部1年）

第三グループ 「『四季薫るまち鹿野』のプランニング（1年を通じて訪れるまちづくり）」

阿部紘明（政治経済学部4年）、山口祐（国際日本学部4年）、

鈴木琴美（政治経済学部3年）、木村枝里（商学部1年）

第四グループ 「空き家活用（企業のサテライトオフィスなど）」

柴田研三郎（商学部4年）、穂坂彩乃（理工学部4年）

第五グループ 「都会で売れる『鹿野ブランド（農業・文化・工芸など）』づくり」

田中宣成（大学院グローバル・ビジネスクリ研究科1年）、佐伯爽（農学部3年）、

植村正之（政治経済学部2年）、包辰（農学部2年）



### 最終成果報告会および交流会

学生たちは「とっとり活性化プロジェクト～鹿野町からの発信～」をテーマに、①鳥取・鹿野のおもてなし、②福祉政策を考える、③「四季薫るまち鹿野」プランニング、④空き家活用、⑤都会で売れる「鹿野ブランド」づくりの5グループに分かれ、成果発表しました。発表では、フィールドワーク最終日に実施した中間報告から改めてまちづくりに関する調査や研究を実施してまとめた最終報告書をもとに、提言を行いました。鳥取県文化観光局交流推進課・山下大治様からは「前回の中間報告から、さらに調査や取材を行って、今後の展開を考えることが出来るようになった」とのご講評頂きました。

その後の交流会では、NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会・佐々木会長より明治大学社会連携事務室鹿野分室の看板贈呈式が行われ、この4か月間の交流を振り返る温かい時間となりました。



鳥取県の皆さま、ご支援ご協力いただき、誠にありがとうございました。